

## 令和7年度 大河原・仙台教育事務所管内 子育てサポーター養成講座

<5月29日(木)>

場所：大河原合同庁舎

参加者：26名

(領域1)『家庭教育支援の理解』

(講師) 佐々木 とし子 氏



(講義) 家庭教育手帳

(演習) はやねはやあき朝ごはん体操について

家庭教育支援がなぜ必要なのかをお話いただきました。手遊び、わらべ歌なども紹介していただき、受講生も楽しく学ぶことができました。

<6月6日(金)>

場所：仙台合同庁舎

参加者：25名

(領域2)『親子の理解とかかわり方』

(講師) 西城 あや 氏



(講義) 親のみちしるべについて

先生ご自身の子育ての経験をもとにしたお話で、親は子へどう声を掛ければよいかを具体例を交えて紹介していただきました。

<6月13日(金)>

場所：大河原合同庁舎

参加者：24名

(領域3)『総合的な理解』

～地域活動、父親の教育参画～

(講師) 石垣 政裕 氏



閉講式において修了証を配布

これからの家族のあり方について学ぶことができました。子育てしていくには、話を聞いてくれる人が必要ということが分かりました。

……… 下記の文章は、受講生の皆さんの感想です。本当にありがとうございました。 ………

○自分の子育てのことも振り返りながら、今からサポートする方の環境、気持ちをたくさん受け止めていきたいです。仕事上ではなく、私生活でも、たくさん相談されるため、視野と心を広く話していければと思います。

○昔の手遊びに色々な意味があって、それぞれの動きに想いが込められていることが興味深かったです。

○自分自身も子育て中なので、我が子はもちろん、関わる子供たちに早速実践していきたいと思います。有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

○すごく勉強になりましたし、我が子と向き合っているように向き合えていなかったと思いました。またティーチングからやってみます！！

○毎日異なる遊びをすれば、毎日異なる言葉に触れることができるといった内容が心に残りました。幼い頃からインターネットに触れ、様々な言葉にさらされる現代社会だからこそ、その環境と上手く付き合うべきだと感じました。

○体験・共同作業・愛情を伝えることで、子供は大人を信頼することがわかりました。

地域で「子育て中の親を応援したい!」「家庭教育支援について学びたい!」という方々にご参加いただきました。今後、子育て中の親などの相談に気軽に応じたり、助言したりする『地域ボランティア』としてご活躍されることを、ご期待申し上げます。